

えひめ 健康だより

2000
9月
No. 1



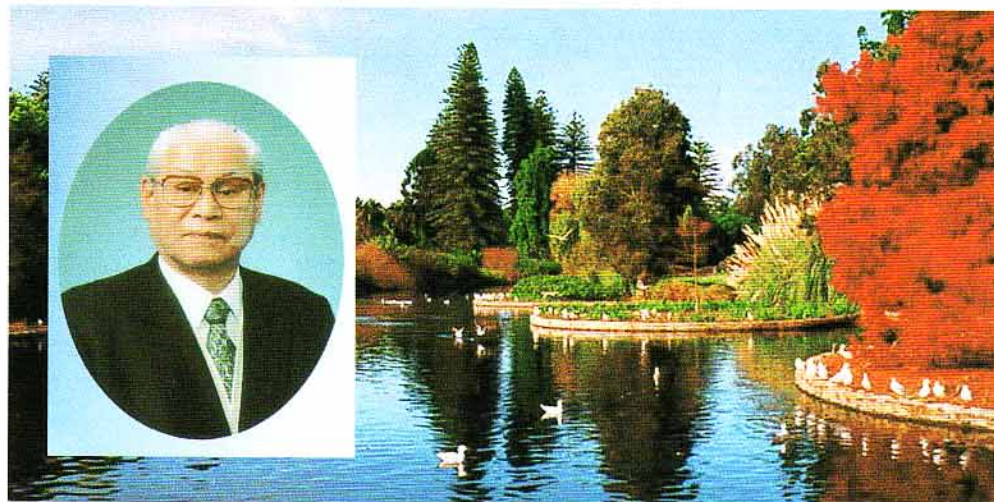
目 次

機関誌「えひめ健康だより」の創刊にあたって・・・	1頁
第4回理事会・評議員会開催・・・	2頁
がん検診とがん予防展及び県民公開シンポジウム・・・	2頁
協会誕生から2年半までのうごき・・・	3頁
組織構成について・・・	5頁
事業内容・・・	6頁
肺がんデジタル健診Q & A・・・	7頁
平成12年度よりマンモグラフィによる乳がん 検診を開始・・・	9頁
職場の健康管理にぜひご利用下さい 政府管掌健康保険加入事業所・・・	9頁
第5回理事会・評議員会の開催・・・	10頁



財団法人 愛媛県総合保健協会

機関誌「えひめ健康だより」の創刊にあたって



ごあいさつ

(財) 愛媛県総合保健協会 理事長 村上 郁夫

この度、機関誌「えひめ健康だより」を創刊するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

平成10年4月1日 健診3団体が合併し、それぞれの施設において業務を開始し、早や2年余が経過しました。

その間、合併による諸問題に対処しながら健診・環境検査事業に邁進してまいりました関係で、機関誌等を発行する余裕がありませんでしたが、やっと体制が整い、その機会を得ることが出来るようになりました。

これを機に、企画広報・健診業務について、地域の皆さんから信頼され、より高い評価を得られるよう、協会の各種情報や健康増進に役立つ健診データの提供を図っていかねばと考えております。

そして、この「えひめ健康だより」が協会の情報源としての機能を発揮し、市町村や、関係団体の皆さんとの掛け橋として役立つことを願っております。

編集スタッフは、未熟ではありますが、魅力ある機関誌を目指しがんばりますので、関係の保健・福祉機関をはじめ、関係各位の皆さんのご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第4回 理事会・評議員会開催

平成12年3月29日、国際ホテル松山で第4回理事会・評議員会を開催しました。

まず報告事項として、給与規程の一部改正とCT検診車並びにCR検診車の契約内容についての説明がありました。

ついで、議案として、平成12年度事業計画及び収支予算案と、労働基準法一部改正に伴う就業規則の一部改正について、事務局から説明がありました。

事業計画では、「住民の保健及び福祉の向上」を基本理念として、公衆衛生に関する正しい知識の普及啓発、各集団検診事業の推進拡充に努め、新規事業としてマンモグラフィ車による乳がん検診、CT・CR車による肺がんデジタル検診を推進しがんの早期発見に努めること、

さらに、肺がん検診においては、県のスーパーハイウェーと連携し、愛大医学部等中核病院との遠隔診断システムの構築を目指し、診療所は総合健診の充実拡大を図り、その他機器等の充実整備を行い、経営の安定化に努める旨の説明がありました。

また、収支予算案では約24億円の収入支出について説明があり、理事会の議決及び評議員会の同意につき審議をお願いしたところ、両議案とも全員一致で承認されました。

その他として、平成11年6月の理事会において報告され設置した、協会の短・中期構想検討委員会検討結果について、向こう10年間の経営収支についての試算の報告がされました。

がん検診とがん予防展及び県民公開シンポジウム

松山市総合コミュニティセンター・キャメリアホールで、協会と(財)がん研究振興財団主催で、平成12年2月25日にがん予防展、CT・CR・MG・骨密度の無料検診を、2月26日にがん予防展、無料検診、午後からシンポジウムを開催しました。

無料検診は1,085名の受診があり、シンポジウム参加者は1,100名でした。

まず、当協会 村上 郁夫理事長と(財)がん研究振興財団 大高 道也専務理事の

挨拶のあと、シンポジウムの基調講演に移り、松山市医師会長 久野 梧郎先生の司会で国立がんセンター名誉総長 末舩 恵一先生の「がんを診る、患者さんを診る」の演題で様々な研究・臨床経験に基づいたがん治療における治癒率の向上等の現状について紹介されました。

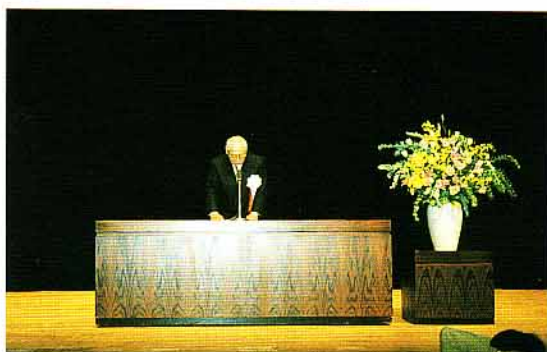
ついで、「がん集団検診のさらなる充実をめざして」一愛媛で始まる肺がんデジタル健診をテーマにコーディネーターには、江口 研二(国立病院四国がんセンター副院長)シンポジストは愛媛大学医学部教授 池添 潤平、愛媛県立中央病

院副院長 上田 暢男、国立療養所愛媛病院副院長 西村 一孝、愛媛県保健福祉部健康増進課長 檀本 真幸の諸先生が参加されました。

それぞれの立場から肺がんデジタル健診を踏まえた検診方法について、また、肺がんのX線写真や有効性等興味ある事例のスライドをまじえながら、受講者に最新の肺がん検診の動向について認識を深めてもらい、「自分の健康は自分で守

る」という意識の普及とデジタル健診に関する知識向上に関してわかりやすく話をされ、会場からも好評の意見を頂き無事閉会しました。

無料検診受診者から3名の早期肺がんが見つかりましたが、CT・CR車による健診効果があったものと思っております。肺がんその他胸部疾患の安心料が年間6,000円は高いですか？



協会誕生から2年半までのうごき

愛媛県総合保健協会は旧 (財)結核予防会愛媛県支部、(財)愛媛県予防医学協会、及び (財)愛媛県がん予防協会の3団体が合併し、各団体の事業を引き継ぐ新団体として、平成10年2月3日の設立発起

人会を経て、同月27日に愛媛県知事から設立許可をえてから、早や2年半が経過しました。

3団体がそれぞれ所有又は賃借していた施設を効率的に使用するため、改修・補修工事を行い、事業部は宮西1丁目の宮西ビルに、健診部は宮田町6-6に、

松山診療所は味酒町1丁目10-5の結核予防会の松山健康相談所を改修し、環境部は診療所と同じ建物の2F・3Fに、そして事務所を診療所前に建築し、それぞれの事業を開始しました。

駐車場確保の為、診療所裏1,044㎡を取得しました。

また、旧団体で使用していた電算システム及び機器もそのまま新団体で使用できるよう改良し報告業務を開始しました。12年度からは機器を一本化し基本システムも統一する作業を開始しました。

合併することにより可能となる政府管掌健康保険生活習慣病予防健診の認可も取得し職域健診及び診療所もその検査基準に対応できるものにし、その普及に努めております。

さらに、たびたび登場する、肺がんデジタル検診CT・CRの最新鋭車両と読影のための電算システムも完備し、愛媛肺がんを考える会の諸先生方の協力により順調に推移しております。

ほかに、胃がん検診車、マンモグラフィ搭載の乳がん検診車も新しく配備しました。



事務所

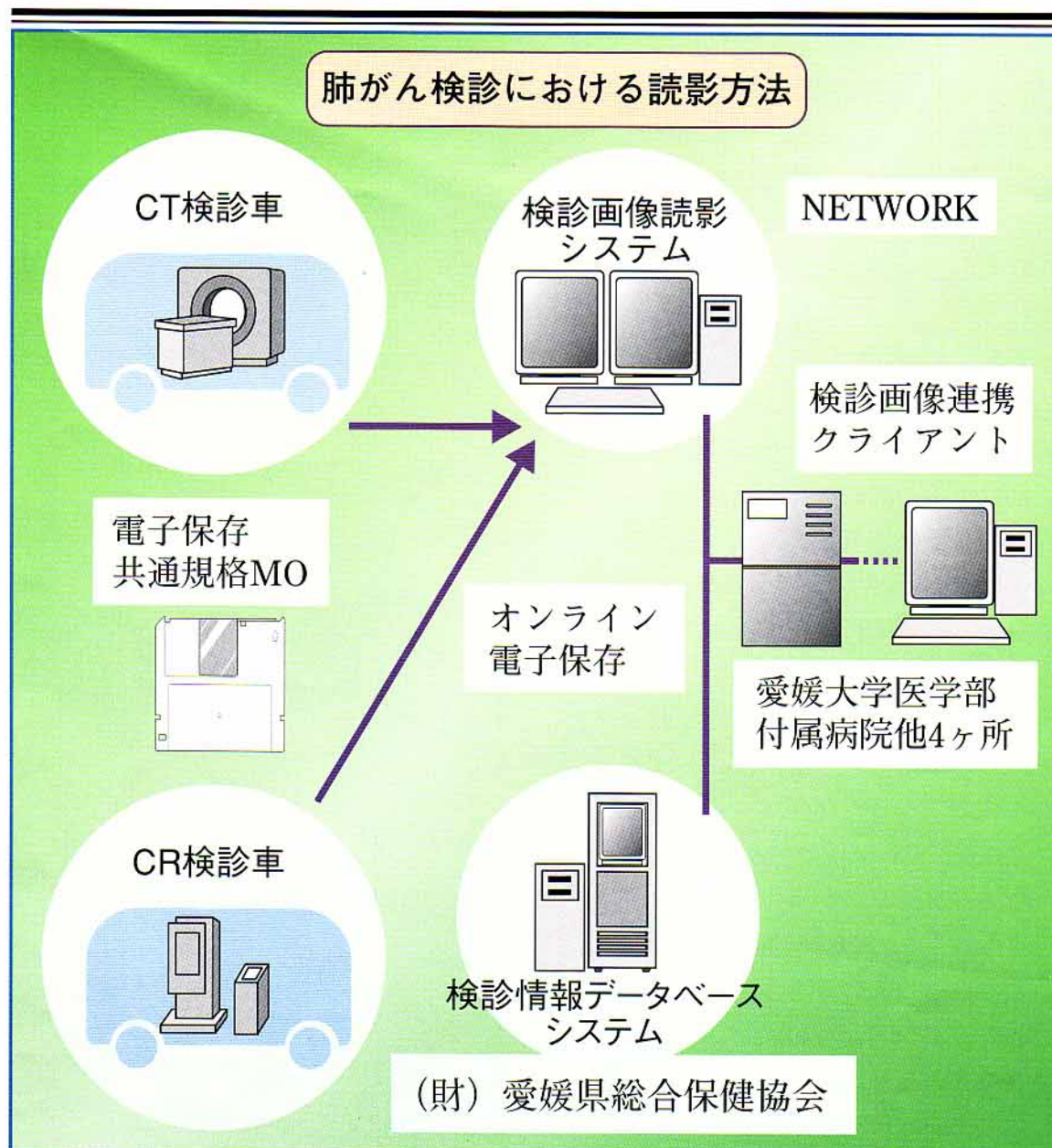


診療所(右1F)・環境部(右2F・3F)



駐車場



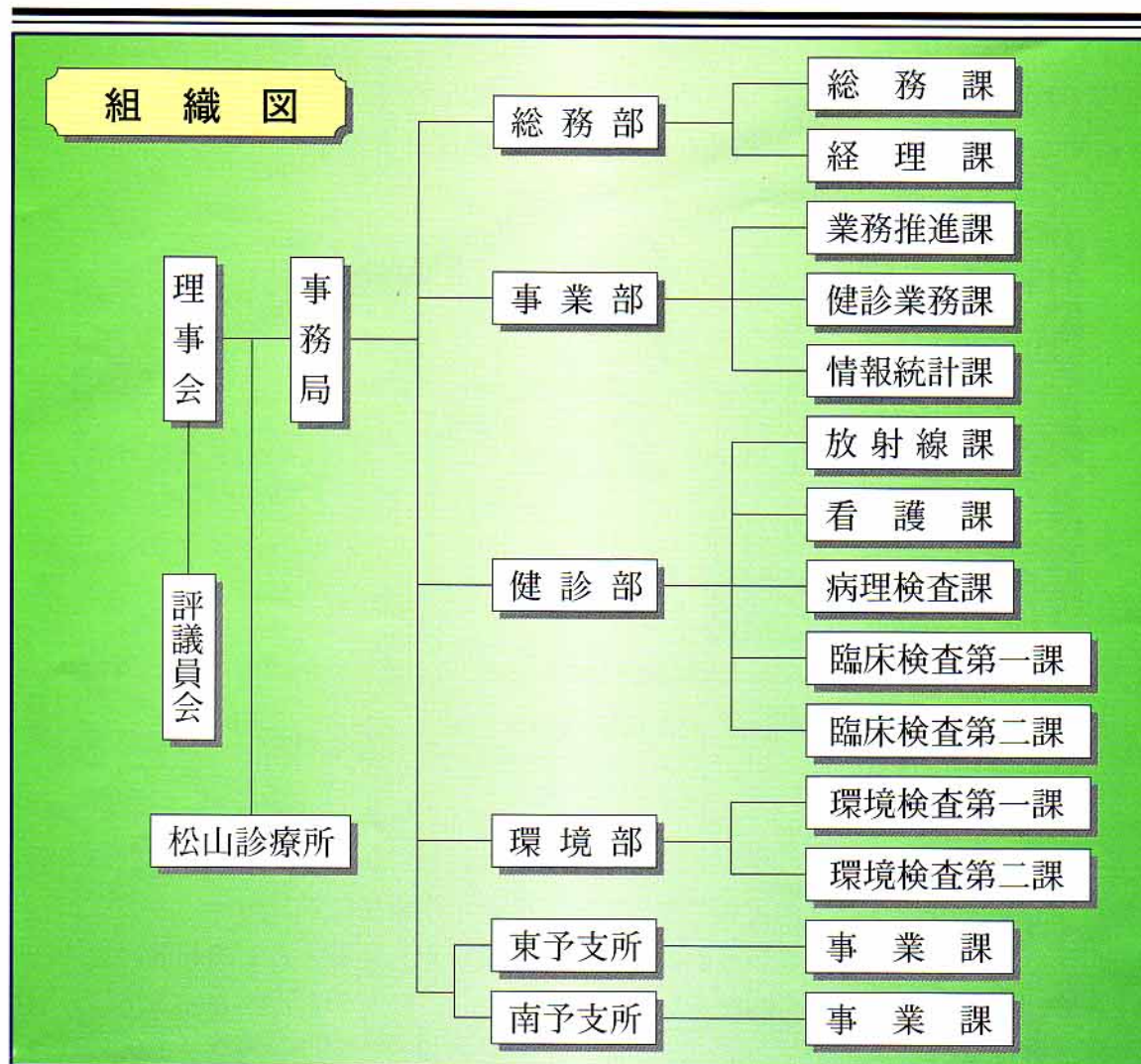


組織構成について

役員は理事長 村上 郁夫（愛媛県医師会長）はじめ、理事22名、監事2名、評議員24名 事務局は事務局長 安藤 賢のもと総務部、事業部、健診部、環境部の4部と東予支所、南予支所の2支所

と診療所で構成され、正職員155名、嘱託7名、長期臨時職員24名の職員数合計186名です。（平成12年7月1日現在）

繁忙期には、パート職員を雇用するため総勢で約300名の大所帯となります。



事業内容

巡回による集団検診・検査が主たる事業で、大きく市町村住民を対象とした、老人保健法、結核予防法に基づく検診、各種がん検診をふくめた地域健診、事業所等職場における職員を対象とした、労働安全衛生法、政府管掌健康保険、その他のがん検診等をふくめた職域健診、学校保健法に基づく児童・生徒を対象とした、結核、心臓、尿、貧血、脊柱側弯

症、寄生虫、小児生活習慣病予防健診等の学校健診に分かれています。

診療所では、一般外来診療をはじめ一般住民、事業所、学校の児童生徒等を対象に各種検診を主体に総合的な健康管理のための事業を行っています。

その他肺がん・子宮がんなどの各種細胞診、病原性大腸菌O-157などの腸内細菌検査も健診部施設でしております。

また、環境検査事業では、環境全般にわたる水質検査、簡易専用水道検査、飲

料水検査、大気検査、その他特殊検査を行っております。ほかに、疾病予防に関する知識や情報を知っていただくための広報、普及啓発活動に努めており、また、

募金活動として、結核や肺がんなど胸部の病気をなくす為の、複十字シール運動、がん征圧募金等を行っております。



左 健診部 上 事業部(愛媛県宮西ビル2F・3F)

肺がんデジタル健診 Q&A

Q 肺がんデジタル健診では、フィルムを使わないとのことですが、どうやって画像を読影して診断するのですか。

A 画像撮影時に、コンピューターを介して数値に変換し、

記憶装置に保管します、その数値を高精査の医療用画像診断専用の装置で、愛媛肺がんを考える会の44名の専門医により診断をおこないます。

その検診情報は、当協会の医療画像専用のデータベースシステムに保管され、個人情報の漏れ、ウイルスに対して、万全の対策が取られております。

Q 読影診断される先生が所属する愛媛肺がんを考える会について教えてください。

A 平成10年1月に代表世話人の愛媛大学医学部放射線医学教室教授 池添先生の呼びかけで、県内の医療機関などに勤務する医師、診療放射線技師、医療従事者等で組織された会で、胸部検診の効果及び精度の向上をはかり、学術の鍛練、

知識交換並びに関連各団体との連携を保ち、県下の肺がんの早期発見と罹患率の低減をめざし、県民の健康増進を目指しており、会員は約90名です



月1～2回

PM 7時からの読影研修風景です。

Q

協会が保有する、デジタル検診車について教えてください。

A

CR検診車とCT検診車がそれぞれ1台ずつあります。

年間約2万人撮影できるCRでは、胸部全体を1枚のデジタル写真で撮影します。年間約6千人撮影できるCTでは、ヘリカルCTにより、X線源が高速回転する輪のような装置の中を、息を止めて仰向けに寝た受診者を乗せた台が、スーッと通り抜けたX線透過度のデータがコンピューターに送られ、歪みを調整され、約30枚の画像を1回で撮影します。検査時間は10数

秒で終わり、車に入ってから出るまで5分もかかりません。両検査とも受診対象者が健康な方ですから、スクリーニングを目的としており、いたずらにX線被爆を増やすことなく、早期肺がん等の可能性を見つけ出す方法です。

精密検査により肺がん等を確定するためには、専門病院において、高分解能CTの検査が必要です。



Q

検査報告書で、検査の結果さらに詳しい検査が必要で、精密検査では、高分解能CT検査が必要でとのコメントと、EまたはD判定が記載されてきました。どうすればいいですか。

A

デジタル健診では、X線フィルムを読影以上に多くの情報を得られることから肺がん疑いやそれ外の疾患や所見を、多く見

つけることができます。

さらに詳しい検査が必要でとの記載があっても、全てが肺がん疑いではないので、いたずらに不安を抱かず、早い時期に専門医の精密検査を受け医師の指示に従い、健康管理に役立てることをお勧めします。

精密検査実施医療機関は、平成12年3月21日現在45の施設が登録されています。

Q

より精密なCT検査をするのになぜCRの検査もするのですか。

A

喫煙期間の長い方、血縁者にがんを経験された方がおられる、ハイリスク者には、

CT検診をお勧めしております。

検診費用の点でCR検診はメリットがありますが肺がんデジタル検診では、病気を見つけることも重要ですが、健康なときのデータを蓄積しておくことも重要です。

2回目以降の受診では、前回の正常時

のデーター（検診画像）との比較読影
でごく微細な変化も見つけることもで

き蓄積データーもより有効に活用でき
ると考えております。

平成12年度よりマンモグラフィによる乳がん検診を開始

乳がん検診車は平成12年2月16日完成
納車されました。

乳房X線撮影装置は東芝製 MG U-
200Bで2次元移動式マンモグラフィ専
用AEC検出器を内蔵し乳腺組織を的確
にキャッチできる装置を搭載した、全長
8.2m、総重量8トンで、電源は单相200
V及び発電機を備えた新鋭車両です。

撮影は乳房を片方ずつ均等に圧迫して
一方向から行います。要する時間は約5
分程度です。視触診と併用し、微小なが
んの早期発見を目的に実施します。

なお、1回の撮影に要する放射線量は
0.1ミリシーベルトでなんら心配するこ
とのない被爆線量です。

保健事業第4次計画の重点的に取り組
む疾患として、第1にがんが取り上げら
れ、「がん予防重点教育及びガン検診実
施のための指針」で乳がん検診ハイリス
ク者にマンモグラフィ検査を原則的に導
入することが明記されました。

協会では、「安心して乳房撮影（マン
モグラフィ）を受けていただくために」
と題して、パンフレットを用意しており
ますのでご利用ください。



職場の健康管理にぜひご利用ください 政府管掌健康保険加入事業所

政府管掌健康保険に加入しておられる
方の生活習慣病予防健診

・一般健診

40歳以上の被保険者及びその被扶養
配偶者並びに肥満や高血圧などで生活
習慣の改善指導を希望される35歳以上
40歳未満の被保険者が対象

・日帰り人間ドック

35歳（被保険者のみ）、40歳、45歳、
50歳、55歳の被保険者及び被扶養配偶
者並びに56歳以上の被保険者が対象の
健診が受けられます。

巡回健診で健診車の駐車スペース、
検査場所の確保が難しい場合、松山診
療所 松山市味酒町1丁目で

TEL (089) 926-7400（事業部）に

ご連絡いただければ、実施についてご説明いたします。

負担額は(平成12年4月現在)

	健診料金	自己負担
一般健診	22,197円	5,770円
人間ドック	37,642円	11,020円



健診は、正面1階の松山診療所にて行っています。

第5回理事会・評議員会の開催

平成12年6月12日、国際ホテル松山で第5回理事会・評議員会を開催しました。

平成11年度の事業報告及び決算報告で、前記のがん検診県民公開シンポジウム、CT・CR車による肺がんデジタル検診の実施状況、その他がん検診の実施件数の低迷状況、12年度より本格開始のマンモグラフィによる乳がん検診の取り

組み、診療所の検査実績向上、環境検査事業での検査件数の減少による減収の状況等の明細が報告されました。

決算報告では、退職者の補充を抑え、経費節減に努めた結果、適正な利益がえられたとの議案説明がされ、全員異議なく承認されました。

閉会后、同ホテルで懇親会を開き、和やかな雰囲気の中で親睦を深めると共に、今後の協力をお願いして解散しました。



えひめ 健康だより

平成12年9月20日

編 集 (財)愛媛県総合保健協会機関誌編集委員

発行人 (財)愛媛県総合保健協会

理事長 村上 郁夫

〒790-0814 愛媛県松山市味酒町1丁目10番地5

☎(089)941-7882

印刷所 明星印刷工業株式会社
